

第 57 期

報 告 書

2015年3月21日～2016年3月20日

愛光電気株式会社

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素は格別のご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。

本年4月の熊本地震により、被災されました株主の皆様には心からお見舞い申し上げます。

ここに当社第57期（2015年3月21日から2016年3月20日まで）の決算を終了いたしましたので、事業の概況をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2016年6月



代表取締役社長
近藤 保

■営業の概況

当事業年度におけるわが国経済は、雇用環境の好転、企業収益の改善など景気は緩やかながら回復の兆しを見せておりますが、中国その他新興国の景気減速や原油・資源価格の下落などの影響により、依然として国内全体での景気の先行きは不透明な状況が続いております。

電設資材卸売業界におきましては、新築住宅着工戸数も緩やかな持ち直しの動きがあるものの、原材料価格や現場人件費の高騰により需要獲得の競争が激しく、収益環境は依然として厳しい状況です。

このような状況の中、当社においては4月に展示即売会「AIKO フェスタ2015」を実施した他、積極的な販売活動を推し進めるとともに、業務効率化アップに努めるなど収益改善に努めております。

結果、当事業年度における売上高は11,590百万円（前年同期比0.1%増）となりました。

利益面につきましては、貸倒引当金繰入額の減少により販売費及び一般管理費の総額は1,639百万円（前年同期比6.2%減）となりました。これにより営業利益204百万円（前年同期比35.8%増）となり、経常利益207百万円（前年同期比34.4%増）、当期純利益は税制改正に伴う繰延税金資産の取崩しにより88百万円（前年同期比20.1%増）となりました。

■経営の基本方針

当社は、電気機器電設資材総合商社として「社会への貢献」「企業の永続」「社員の幸せ」の三つを調和させ、お客様、仕入先、愛光電気株式会社の三者が共に生成発展する三位一体の使命感経営を実践し続けることを経営理念とし、新市場、新商材の探求と有力な販売チャネルの拡充・拡大、新たなビジネスモデルの創出など、「電気総合商社」として時代を先取りする企業を目指してまいります。

■中長期的な経営戦略

創業60周年を機に平成26年3月期（第55期）から平成35年3月期（第64期）までの10ヶ年を対象期間とする10年ビジョン（名称：AIKO NEW WING PLAN-II）を策定いたしました。メインテーマは「時代を先取りする企業」です。このテーマを基に当社の成長戦略を描き、ビジョン実現に向け中期経営3ヶ年計画を策定、実行してまいります。

■当面对処すべき課題

- ①当社は神奈川県西部の小田原本社を中心に、神奈川県内と静岡県東部、東京都内に営業拠点を配しております。東京都内に於いては、オリンピック・パラリンピック開催に伴う施設の新築や更新、駅前の再開発などが進行中であり、建設市場は活況が続くものと思われま。この機会を捉えて、得意先の新規開拓を推進し業容の拡大、発展を図ってまいります。そのための要員の配置や出店が課題です。神奈川県や静岡県に於いては新規開拓と既存得意先の占有率のアップに重点を置き、地域売上NO.1（ニッチトップ）を目指してまいります。売上は市場規模と占有率（マーケットサイズ×シェア）に依存するため、経営環境に適した営業所運営に注力して、全営業所営業利益黒字化を達成することが会社の対処すべき課題であります。
- ②労働法改正の動きのなかで、雇用形態や働き方の多様化が求められる状況となっており、当社の人事戦略に有効な施策については速やかに対応していくことが経営課題であります。
- ③会社が求める人材像の指標を以下に示します。経営理念の実現を目指す人材の育成が課題であります。
 1. 得意先のニーズに合ったものを提供できることがプロフェッショナルの条件であり、そのためには専門的な知識や経験に加え、相手の立場に立った横断的な知識・経験の修得が必要であります。これらの修得を通じてプロフェッショナルを目指してまいります。
 2. 各人が形成する人脈や信頼関係、知識や経験の蓄積は会社の財産であります。将来を見据えて、常に自分の頭で考えて仕事の『価値』を高めて行くことが、結果として確実な利益貢献をもたらすことを目指しております。
- ④当社が加入している神奈川県電設厚生年金基金は、平成27年2月に解散方針決議を行い、現在後継制度の検討を行っております。今後の企業年金に関わる法制および行政の動向と当該基金の解散認可に至るまでのプロセスを注視し、基金解散後の当社退職給付制度全体を包括的に検討していくことが経営課題であります。

■経営の礎

「社団法人倫理研究所」のライセンス認定企業プログラム『倫理 17000』に、全国67,485社の会員企業の中から191社が認定され、当社もその中の一社（第25号）として認定されています。（2004年9月1日交付）

倫理とは人間を幸福に導き、平和で豊かな社会を築く基本であり、道徳を超える生きた生活法則と捉えています。1972年（S.47）以来、社員全員が倫理研修に取り組み、その実践を通して人間社会を幸福にするものとして社員一人一人に深く浸透しています。

その高い倫理観は、ビジネスパートナーからの評価も大変高く、コンプライアンスをはじめ、当社の経営の大きな礎となっています。



電気の総合商社として『時代を先取りする企業』を目指す

当社は、10年という時を区切りとしてビジョンを立て、その目標に向かって進んでいます。

お客様・仕入先・愛光電気の三者間のパートナーシップによる生成発展が当社の使命感経営であることを肝に銘じ、ビジョン実現に向け、中期経営3ヶ年計画を策定し、実行しております。

「AIKO NEW WING PLAN- II」



総合商社として事業領域を拡大してまいります

当社は、取引先とのコラボレーションにより、電気の総合商社として新しい事業領域を広げ、付加価値の高い業務を進めてまいります。

室内環境の改善と省エネのトータルソリューションを考えた『エコシルフィ』

エコシルフィの特許でもある直線的な微風により、室内の空気を強制対流させ家庭やオフィス空間の温度ムラを解消します。これにより冷暖房費に対する省エネ効果が得られ、さらには結露の抑制、カビの発生防止、タバコ臭等の解消にも効果を発揮します。

エコシルフィは現在、官公庁や大手企業様にもその良さが認められ、確実に浸透し続けています。

当社はお客様にエコシルフィを設置していただくことで、より快適な室内環境への改善をご提供していきます。

メーカーHP【北上電設工業株式会社】 <http://kitakami.co.jp/>



自然の恵みを電気に変える。次世代のクリーンエネルギー『太陽光発電システム』

当社は環境エネルギーへの投資が近年進む中、太陽光発電システムのご提案に取り組んでいます。

太陽光発電を利用することにより、地球温暖化の原因となるCO2の排出量削減等の環境保護への貢献はもちろん、クリーンな太陽エネルギーで得た電気をムダなく活用し、光熱費を大幅に抑えることも可能となります。

太陽光を各家庭で電気に変えることが、年々深刻化する環境問題や資源問題の有力な解決策の第一歩になります。

メーカーHP【シャープエネルギーソリューション株式会社】 <http://www.sharp-sesj.co.jp/>



ステッカータイプとしては国内初の消防認定取得品 高輝度蓄光式誘導標識『α-FLASH』

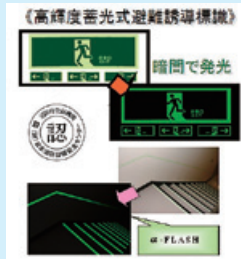
災害などによる停電時の緊急避難を支援する、ステッカータイプの高輝度蓄光式誘導標識「α-FLASH」は、消防法で定める避難設備認定を、蓄光式ステッカーとして国内で初めて取得いたしました。

壁に貼るだけなので電源も施工費も要らず、ランニングコストもかかりません。6～8時間光り続けるため、停電で暗闇になっても標識を頼れば避難時間が約3分の1に短縮できます。

ここ数年、鉄道会社、政府機関やコンビニなどでの採用が増え、東京都においても条例で地下鉄駅舎への設置を義務化しております。

当社は人命救助に貢献できるα-FLASHシリーズをより多くの方にご提案していきます。

メーカーHP【エルティアーアイ株式会社】 <http://www.ltic.co.jp/>



IHクッキングヒーターとエコキュートで省エネルギーに加え、安全と安心もご提案

太陽光発電システムとの組み合わせで当社がご提案しているのがIHクッキングヒーターとエコキュートです。

IHクッキングヒーターは、火を使わないのでうっかりしても安心、燃焼ガスが発生しないので室内の空気が汚れない、だからキッチン周りのお手入れも簡単。さらに高火力でスピード調理と快適・清潔・省家事を実現します。

エコキュートは空気の熱を給湯に有効利用できるため、家庭で使うエネルギーの1/3を占める給湯の省エネ効果と、フロンガスを使わないのでオゾン層にも悪影響を与えません。太陽光発電とオール電化で、生活環境・生活スタイルをより快適に！よりクリーンに！

IHクッキングヒーター

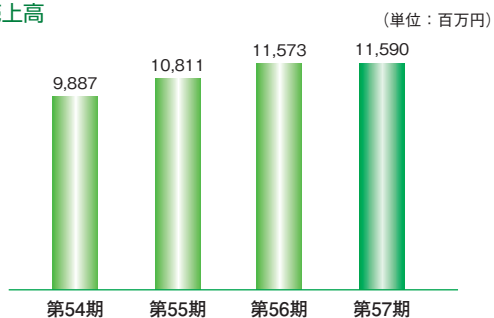


エコキュート

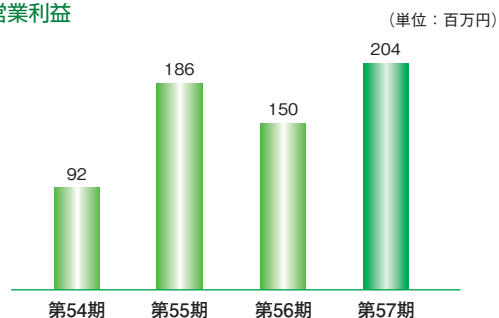


財務ハイライト

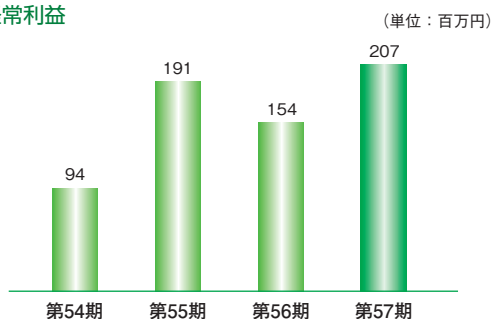
売上高



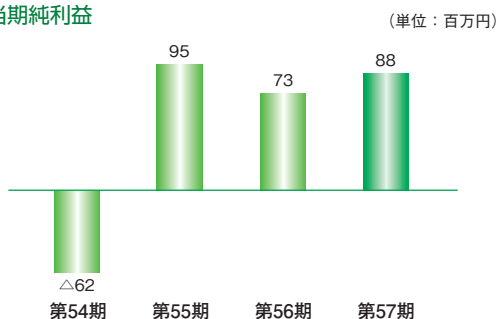
営業利益



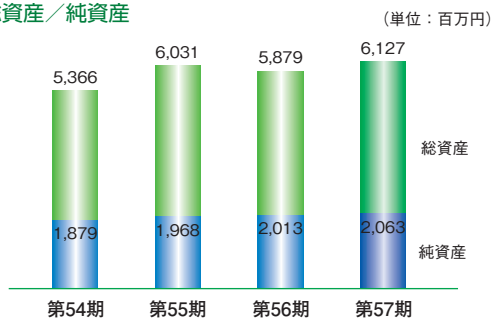
経常利益



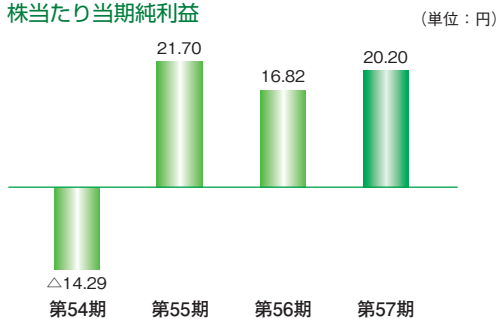
当期純利益



総資産／純資産



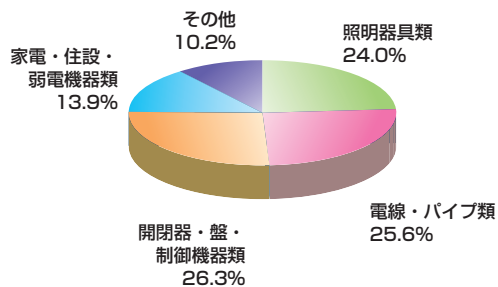
1株当たり当期純利益



取扱品目

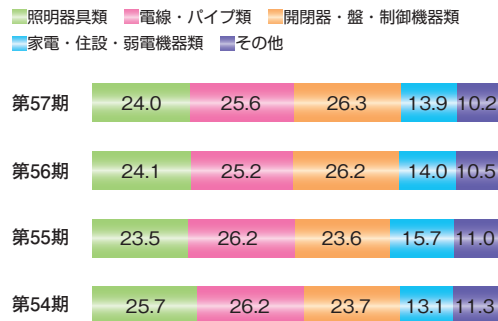
品目別売上高構成比

(単位：%)



品目別売上高構成比の推移

(単位：%)



主な取扱品目

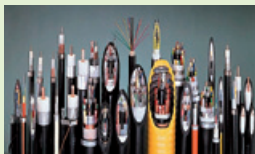
照明器具



配線器具



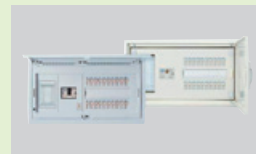
電線



電線管・付属品



盤



キュービクル



制御機器



工具



住宅設備



弱電機器



POINT

流動資産については、前期末と比べて276,252千円(5.6%)増加しておりますが、期末売上増に伴う営業債権の増加によります。

固定資産については、前期末と比べて28,331千円(3.0%)減少しておりますが、有形固定資産の減価償却の進捗と、遊休土地の減損処理によります。

流動負債については、前期末と比べて630,693千円(17.3%)減少しておりますが、仕入債務の増加と短期借入金を長期借入金へ変更した差額によります。

固定負債については、前期末と比べて828,879千円(363.8%)増加しておりますが、短期借入金を長期借入金へ変更したことによります。

純資産については、前期末と比べて49,735千円(2.5%)増加しておりますが、当期純利益の計上に伴う繰越利益剰余金の増加によります。

POINT

当期末における現金及び現金同等物は、以下に記載のキャッシュフローにより1,326,837千円となり前期末と比べて53,151千円減少いたしました。

営業活動によるキャッシュフローの6,376千円の支出は、資金増加の要因として税引前当期純利益、仕入債務の増加等があったものの、これを上回る資金減少の要因として売上債権の増加、未払消費税の減少等によります。

投資活動によるキャッシュフローの15,893千円の支出は、営業事務所倉庫改修工事と備品購入によります。

財務活動によるキャッシュフローの30,880千円の支出は、配当金の支払いによります。

貸借対照表(要旨)

(単位：千円)

科目	第57期 2016年3月20日現在	第56期 2015年3月20日現在
資産の部		
流動資産	5,210,715	4,934,462
固定資産	916,529	944,861
有形固定資産	525,136	537,994
無形固定資産	23,156	27,129
投資その他の資産	368,236	379,737
資産合計	6,127,244	5,879,323
負債の部		
流動負債	3,006,815	3,637,509
固定負債	1,056,724	227,845
負債合計	4,063,540	3,865,354
純資産の部		
資本金	611,650	611,650
資本剰余金	691,950	691,950
利益剰余金	753,145	695,349
その他	6,958	15,021
純資産合計	2,063,704	2,013,969
負債純資産合計	6,127,244	5,879,323

キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：千円)

科目	第57期 (2015年3月21日から 2016年3月20日まで)	第56期 (2014年3月21日から 2015年3月20日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,376	388,634
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,893	△13,083
財務活動によるキャッシュ・フロー	△30,880	△35,651
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△53,151	339,899
現金及び現金同等物の期首残高	1,379,988	1,040,088
現金及び現金同等物の期末残高	1,326,837	1,379,988

損益計算書(要旨)

(単位：千円)

科 目	第57期	第56期
	(2015年3月21日から 2016年3月20日まで)	(2014年3月21日から 2015年3月20日まで)
売上高	11,590,303	11,573,165
売上原価	9,745,682	9,674,477
販売費及び一般管理費合計	1,639,778	1,747,810
営業利益	204,843	150,877
営業外収益	11,114	12,284
営業外費用	8,330	8,706
経常利益	207,627	154,455
特別損失	8,722	-
税引前当期純利益	198,904	154,455
法人税、住民税及び事業税	113,858	107,621
法人税等調整額	△3,400	△26,831
当期純利益	88,446	73,665

POINT

売上高は11,590,303千円（前期比0.1%増）となりました。

利益面につきましては、貸倒引当金繰入額の減少により販売費及び一般管理費が6.2%減少しました。これにより営業利益204,843千円（前期比35.8%増）となり、経常利益207,627千円（前期比34.4%増）、当期純利益は税制改正に伴う繰延税金資産の取崩しにより88,446千円（前期比20.1%増）となりました。

株主資本等変動計算書

当事業年度（2015年3月21日から2016年3月20日まで）

(単位：千円)

	株 主 資 本							評価・換算差額等		純 資 産 計 合		
	資 本 金	資 本 剰 余 金		利 益 剰 余 金			自己株式	株主資本合	その他有価証券評価差額金		評価・換算差額等計	
		資 本 準 備 金	資 本 剰 余 金 合 計	利 益 準 備 金	そ の 他 利 益 剰 余 金 別 途 積 立 金	繰 越 利 益 剰 余 金						利益剰余金合
2015年3月21日残高	611,650	691,950	691,950	45,943	520,000	129,405	695,349	△9,784	1,989,164	24,805	24,805	2,013,969
事業年度中の変動額												
剰余金の配当						△30,650	△30,650		△30,650			△30,650
当期純利益						88,446	88,446		88,446			88,446
自己株式の取得								△338	△338			△338
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)										△7,723	△7,723	△7,723
事業年度中の変動額合計	-	-	-	-	-	57,796	57,796	△338	57,458	△7,723	△7,723	49,735
2016年3月20日残高	611,650	691,950	691,950	45,943	520,000	187,202	753,145	△10,122	2,046,622	17,081	17,081	2,063,704

会社概要 (2016年3月20日現在)

商号	愛光電気株式会社
創業	1953年11月8日
設立	1959年10月8日
資本金	6億1,165万円
従業員数	163名
主な事業内容	電気製品、機械器具、資材の販売および修理、電気機械、器具取付工事の設計および施工を主な事業とし、これに付帯する一切の業務

役員 (2016年6月17日現在)

代表取締役社長	近藤 保
専務取締役	大関 正一
常務取締役	柏木 良明
取締役	神 嘉彦
社外取締役	藤田 博司
常勤監査役	小笠原 寛
社外監査役	板倉 崇
社外監査役	脇 国広

ネットワーク (2016年6月17日現在)

神奈川西営業部	東京営業部
小田原南営業所	品川営業所
小田原北営業所	京浜営業部
平塚営業所	横浜営業所
厚木営業所	特販営業所
神奈川東営業部	制御機器営業部
横須賀営業所	藤沢制御機器営業所
藤沢営業所	厚木制御機器営業所
東静岡営業部	環境事業営業部
沼津営業所	営業一課
伊東営業所	交通営業部
下田営業所	東京営業所
	小田原商品センター



株式の状況 (2016年3月20日現在)

● 会社が発行する株式の総数 12,000,000株

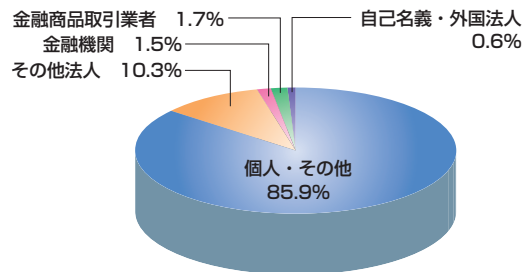
● 発行済株式の総数 4,411,000株

● 株主数 474名

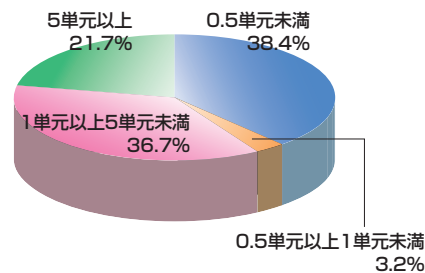
● 大株主 (上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	議決権比率(%)
愛光電気共栄会	794,000	18.32
近藤保	386,300	8.90
東芝ライテック株式会社	264,000	6.09
河村電器産業株式会社	203,000	4.68
近藤和子	158,100	3.64
光昭株式会社	152,000	3.50
渡會孝一	151,000	3.48
愛光電気社員持株会	108,000	2.49
さがみ信用金庫	99,000	2.28
日東工業株式会社	94,000	2.16

■所有者別株主分布状況



■所有数別株主分布状況



株主メモ

事業年度	毎年3月21日から翌年3月20日まで
配当金受領株主確定日	期末配当金 3月20日 中間配当金 9月20日(中間配当をする場合)
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同送付先・連絡先	東京都江東区東砂七丁目10番11号(〒137-8081) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-232-711
公告方法	電子公告により行う。(ただし電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行う。) (http://www.aiko-denki.co.jp/)

Web Information

ホームページのご案内

当社のホームページでは株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、積極的に情報開示を行っています。製品情報に加えて最新のトピックスを随時更新し、当社の事業活動や動向を紹介しています。

当社をよりご理解いただくためにも皆様のアクセスをお待ちしております。



<http://www.aiko-denki.co.jp/>

愛光電気株式会社

〒250-0293 神奈川県小田原市西大友205番地2 TEL.0465-37-2111 (代)

